

教育課程上の位置付 部活動(音楽部)

実施概要

当校は、東京都及び我が国の視覚障害教育の拠点校・センター校として常に情報を発信しています。

部活動では目覚ましい実績を上げており、ヘレン・ケラー記念音楽コンクールにおいて、音楽部ならびに楽器演奏の生徒が入賞しました。

社会貢献活動は、数年前まで高齢者施設への訪問を行ってききましたが、施設内でインフルエンザが流行したことをきっかけに、交流を中断していました。

今回は、音楽部の活動内容を生かし、生徒が主体性を持って社会貢献活動に取り組むことを目指しました。

社会貢献活動を行う高齢者福祉施設神楽坂は、当校より徒歩15分強の距離にある定員約100名の施設です。地域との交流を盛んに行っていますが、当校との交流は今回が初めてです。



三線の演奏に合わせた合唱をプレゼント

活動報告 実施日:12月3日(土)

活動内容は、合唱・楽器演奏を中心にした活動とし、さらに高齢者とのふれあいを深めるため、ボウリングを行うこととしました。

最初に音楽部の生徒が2曲歌った後、沖縄の伝統芸能である三線による演奏・歌唱を披露しました。その後、1曲を会場の利用者の方も交えてみんなで合唱し、一体感のある交流になるようにしました。

さらに、ブラインドサッカーの鈴の鳴るボールを用いたボウリングを利用者に体験していただき、交流と同時に障害についての理解を深めていただきました。

活動参加者 当校 生徒…5人 引率教員…5人
内訳 交流先 利用者…約50人 担当職員…7人

交通手段 当校と高齢者福祉施設 神楽坂の距離はおおよそ1.4km
徒歩で15分強

当日のスケジュール

13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ

14:15 開会 音楽部挨拶

文京盲学校の紹介、「文京盲学校校歌」(二部合唱)を歌う
曲の紹介「心と心で」(二部合唱)を歌う
曲の紹介、三線の演奏(音楽部以外の生徒1名)
曲の紹介、「ふるさと」(全体合唱)を利用者の方と一緒に歌う

14:35 一休憩

14:40 ボウリング体験

(ゴールボール・ブラインドサッカーのボールを使用)

14:55 閉会挨拶 終了

活動のために準備したもの

- 交流をするという雰囲気作りが大切であるため、画用紙や花紙で壁飾りを作り、掲示した。
- 交流内容や活動の見通しが持てるように、プログラムを作成した。

工夫したところ

- プログラムは絵の得意な生徒がピアノの挿絵を書いて、立体コピーの挿絵(うさぎと山)を貼るなど、盲学校らしさが出るようにした。
- ブラインドサッカーやゴールボール等、盲学校のスポーツで使用する鈴の入った球を用いてボウリングをすることで盲学校について興味を持っていただけるよう、工夫をした。
- 三線や合唱など生徒が得意なことを生かして交流できるようにした。
- 利用者も一緒に全体合唱ができるように「ふるさと」を選曲した。

実施にあたって注意したところ

- 生徒の安全確保のため、自分で触れ、よく確認しながらの移動が重要。
- 生徒が見通しを持てるように、事前に担当教員が交流施設に下見に行くことがとても大切だと感じた。

良かったと思うところ

- 利用者の方から「ありがとう、良かったよ!」と演奏後に温かい言葉を掛けてもらったこと。
- 言葉でのやり取りが難しい車いすの方も、ステージの方に最後まで顔を向けて耳を傾けてくださったこと。

今後に向けての学校からの抱負

より充実した交流になるように、今年度の反省を生かしていく。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 正直不安なところもありましたが、たくさんの人から言葉をかけてもらい、「良かったよ」と言ってもらえたので、ほっとしています。
- 練習時間が少なかったけど、喜んでもらえて良かった。

教員

生徒の得意なことや身近な物を生かして、お年寄りの方と楽しんで交流できる内容を考えました。文京盲学校からは音楽部が合唱や三線の演奏を発表しました。利用者の方々から「ありがとう、良かったよ」と声をかけてもらえて、生徒は「頑張ってたかった」と振り返っていました。このほかに、ブラインドサッカーやゴールボールなど視覚障害のスポーツで用いられる球を使ったボウリングを行い、利用者の方も一緒に参加してくれました。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 歌は非常にいいですね。沖縄の三線は最高でした。
- ボウリングを生徒と一緒にできて、最高でした。
- 生徒さんがあんなに素敵に歌えて、私もめげちゃいけないな、と思いました。
- また来て欲しいと思いました。素晴らしく、涙、うるうるしました。

副主任
相談員

この度はお忙しい中、歌と三線の披露、ボウリングゲームをしていただき、誠にありがとうございました。
入居者の皆さんもとても喜んでおられました。
中には感動し、涙を流して聴き入っている方もおられました。是非、来年もご来苑していただければと思います。ありがとうございました。



心を込めた合唱に聞き入る



鈴が鳴るボールでのボウリングは大盛況

■ 実施までの経過 ※ (コ) : コーディネーター

8月18日 (コ)、学校で第1回打ち合わせ。

9月12日 (コ)、高齢者施設神楽坂を訪ね、協力を依頼。ご快諾を頂く。
(コ)、学校で第2回打ち合わせ。活動内容大枠を検討。

11月14日 (コ)、学校で第3回打ち合わせ。活動の具体的内容を決定。

11月18日 施設にて当校担当教員、副主任相談員、(コ)の3者で最終打ち合わせを行い、当日に至る。

交流先

社会福祉法人三篠会
高齢者福祉施設 神楽坂

住 所: 東京都新宿区矢来町104

■ 施設概要

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 定員86名
- 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 定員9名
- 認知症高齢者グループホーム 定員18名
- 短期入所生活介護事業(デイサービス) 定員30名
- 居宅介護支援事業所